

10月2日(土)・大会2日目 9:30~10:50 (C会場：1201) (80分)

●セッション【11】

「コーポレート・ガバナンス」

伊藤博之(大阪経済大学経営学部教授)

青木英孝(中央大学総合政策学部教授)

山田仁一郎(京都大学経営管理大学院・経済学部教授)

討論者 井上卓(三菱重工業株式会社 IR・SR 室長／全国株主連合会理事長・東京株式会議会会長)

*司会者 吉村典久(大阪公立大学大学院経営学研究科教授)

*セッション・リーダー

[概要]

本セッションでは、「コーポレート・ガバナンス」の特集号の執筆者に登壇などをいただく予定です。異なった視点から、あるいは、研究者と実務家との異なった立場から、ガバナンスの問題を深掘りしていきます。まず伊藤先生から「統治という概念を問う」、次に青木先生から「コーポレート・ガバナンスと企業不祥事」、そして山田先生から「経営者'の/ど'企業統治」とのタイトルでご報告をいただきます。これらの報告を受けて、実務家の立場の井上様からコメント、ご質問をいただきます。井上様は、株式や株主総会に関わる実務(歴史を含めて)や投資家との対話に豊富な経験をお持ちです。最後に、フロアの参加者も含めて、ご報告についての質疑とディスカッションを行う予定です。

[参加者へのメッセージ]

本セッションでは、以前は例え「所有と経営」の問題として論じられ、1990年代以降は「コーポレート・ガバナンス」の問題として論じられている諸点について、研究者と実務家の間で「対話」を繰り広げていきます。「そもそも」論、いわゆる「守りのガバナンス」や「攻めのガバナンス」などについて、3名の報告者、井上様、フロアの参加者で時間の許す限り「対話」を深めていきたいと考えています。学会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。